



資料 3

令和5年度 兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会総会

「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けた徳島県の取組について

兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会
(徳島県文化資源活用課)

学術調査(文化的調査)

- 学術調査委員会の開催(令和5年12月3日開催)
令和5年度の文化的調査について進捗状況の報告、令和6年度調査内容の協議等
- 「鳴門の渦潮」調査研究チームによる調査・研究
「淡路国分間絵図」を基にした歴史地理学的手法による
「鳴門の渦潮」と淡路島の「文化的景観」についての調査・研究を実施
・合同研究会の開催 ・「淡路国分間絵図」の詳細調査等

普及啓発

- 「鳴門の渦潮」ワークショップの開催
- 「鳴門の渦潮」世界遺産パネル展・中学校美術部作品展
- 普及啓発活動支援事業補助金制度の運用
- イベント等への出展・PR活動 等

今後の世界遺産登録の方向性(登録に向けたアプローチ)の検討(徳島・兵庫県合同)

- 有識者等を委員とする「兵庫・徳島『鳴門の渦潮』世界遺産登録検討会議」を設置し、今後の世界遺産登録の方向性の検討を進めている(第1回:令和6年1月23日開催)

学術調査(文化的調査)の経緯①



文化的調査 (平成27年～)

「鳴門の渦潮」に関する「芸術・文学」「観光・往来」「生業」の側面から調査研究を実施 (※鳴門側を中心とした文化的調査)

主な調査項目

【芸術・文学】

- 原始・古代・中世の鳴門海峡
- 古典文学、古地図、地図にみる「鳴門の渦潮」
- 江戸時代絵画に描かれた鳴門海峡

【観光・往来】

- 19世紀における撫養湊の発展と淡路廻船
- 徳島藩蜂須賀家の鳴門海峡支配
- 「観光地・鳴門」の形成・発展とメディア
- 西洋人の目からみた「鳴門の渦潮」

【生業】

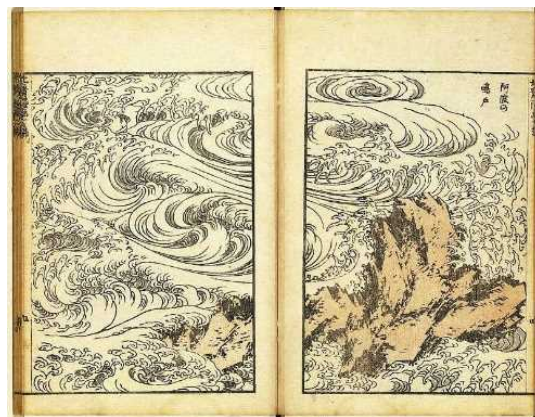
- 鳴門海峡における漁業と鳴門の漁民—「鳴門鯛」と「鳴門わかめ」—
- 淡路島と鳴門市域の塩業—土器製塩から現代の塩業まで—



「鳴門の渦潮」が芸術の源泉に



歌川広重『阿波鳴門之風景』(安政4年:1857年)



葛飾北斎『北斎漫画』より
「阿波の鳴門」



歌川広重
『六十余州名所図会
阿波鳴門之風波』
(安政2年:1855年)

神話の舞台



「天之瓊矛(あめのぬぼこ)を以て
滄海を探るの図」
小林永濯(アメリカ・ボストン美術館 蔵)

破壊的なイメージだけでなく「**創造的**」なイメージも

【観光・往来】の側面

〈鳴門海峡〉

○古来、「航海上の難所」とであるとともに、主要な交通路の一つである「南海道」の一部と位置付けられるなど「**海運上の要所**」

○江戸時代から「観潮」が行われ、「**観光名所**」として発展



徳島藩御召鯨船千山丸（江戸時代の和船）
【日本最古】



お茶園展望台（江戸時代～）



「名勝」鳴門
（観潮の「**最も好適な場所**」として指定）



観潮船（現代）

【生業】の側面

鳴門海峡が育む食材 速い潮流が育む海の恵み



鳴門鯛

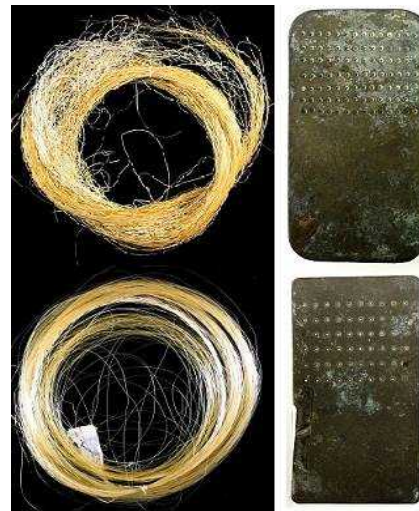


鳴門わかめ

鳴門海峡での漁の工夫 速い潮流に負けない工夫



カンコ舟



テグス

鳴門海峡の地形を活かした製塩 古来からの製塩の場所



日出遺跡(鳴門市)の製塩土器



福永家住宅(国重文)

塩田廃止後も製塩に由来する産業が継続

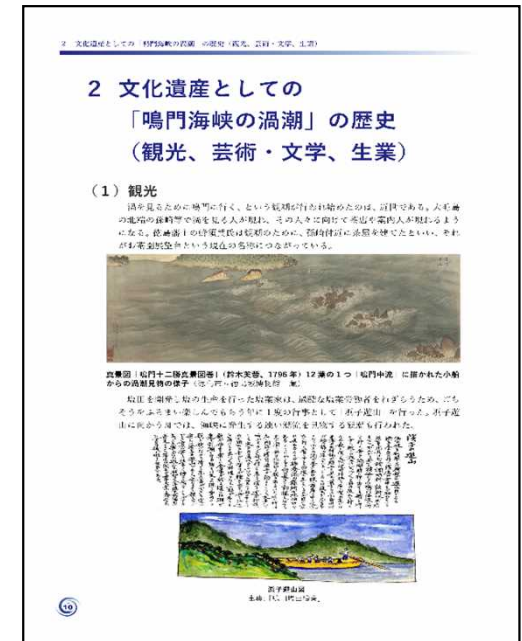
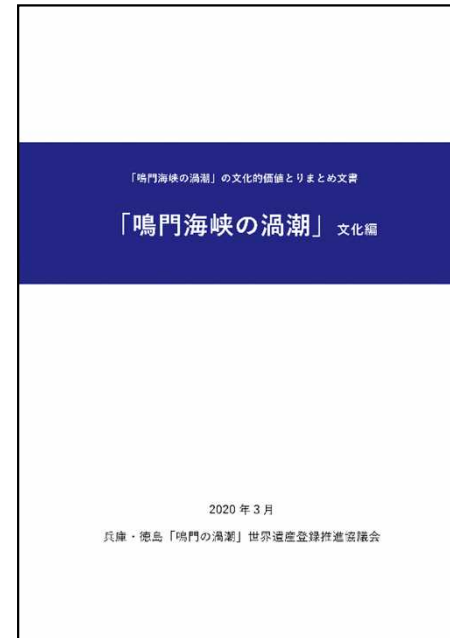
学術調査(文化的調査)の経緯②



「文化的価値」のとりまとめ 文書(令和元年度)

多面的な調査結果の中から
「文化的価値」が高いものを
整理しとりまとめ

国へ報告・提出(令和2年度)



○「鳴門の渦潮」が発生する「大鳴門」だけでなく、
「小鳴門」エリア、「淡路島」を含めた面的な調査が必要

「鳴門の渦潮」調査研究プロジェクト・調査研究チーム発足

- (座長) 藪田貫 「鳴門の渦潮」調査研究プロジェクト実行委員会会長
(兵庫県立歴史博物館長兼ひょうご歴史研究室長)
- (委員) 坂江渉 ひょうご歴史研究室・研究コーディネーター 他6名

学術調査(文化的調査)の経緯③

「鳴門の渦潮」調査研究プロジェクト（淡路島文化財総合調査）

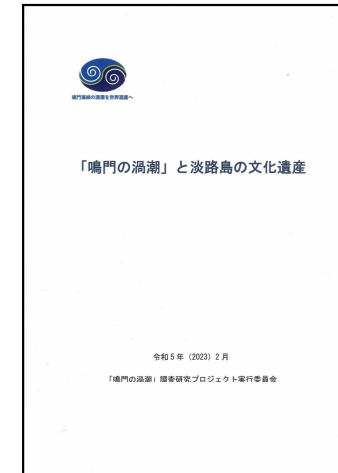
「鳴門の渦潮」と淡路島の文化的調査の実施（令和2年度～）

淡路島調査（第I期）（令和2～4年度）

- 「国生み神話」と鳴門の渦潮
- 国家形成期における淡路と阿波
- 源平合戦と淡路国の武士
- 中世淡路島南部をめぐる海域世界と交通
- 阿波・淡路の水軍と城郭(海城)
- 「福良古事記」と鳴門海峡地域
- 漁具・漁労技術と漁民の移動性
— 沼島を中心として —
- 「鳴門の渦潮」周辺の歴史的世界

3年間の調査研究成果を
取りまとめ

令和4年度報告書刊行



淡路島における
文化分野の
調査が進展

調査の過程で、19世紀の自然と人の生業を示す
「淡路国分間絵図」の調査研究の必要性の再認識

淡路島調査 (第Ⅱ期) (令和5年度～)

○淡路国分間絵図

- ・1820～30年代に徳島藩が、阿波と淡路で実施
- ・淡路島全体の当時の地理情報として最も信頼のおける資料で、村毎に作成
- ・1800分の1という大縮尺は、島内の各地区の地理情報を読み取る上で最良のもの



当時の住民の活動の軌跡

- ・「鳴門の渦潮」を生む海流の変化、潮位の変化と地震などの影響
- ・浦や湊の形成と漁労・運搬活動
- ・漂着物の利用と自然との共生、えびす信仰、浜辺の松林資源の循環利用と流通、ため池による治水涵養
- ・京・大阪から淡路に至る南海道の整備等

「島内地形の変遷」の解説と「渦潮」との文化的関連性

■ 研究テーマ

「淡路国分間絵図」を基に、歴史地理学的手法による
「鳴門の渦潮」と淡路島の「文化的景観」についての調査・研究

■ 令和5年度の実施状況

(「鳴門の渦潮」調査研究チーム)

○ 合同研究

淡路島現地調査・研究報告等

(1) 「鳴門の渦潮」調査合同研究会(第1回)

(令和5年7月1日・2日)

「淡路島の分間絵図」調査研究の方向性等について
討論。委員による洲本市立淡路文化史料館所蔵資料の
熟覧・調査を実施

(2) 「鳴門の渦潮」調査合同研究会(第2回)

(令和5年12月2日・3日)

委員による「分間絵図」と「名所図会」に関わる現地調査を
実施。研究会では、近世絵図や地図情報に関する研究報告
を基にした意見交換を実施

※第3回合同研究会は各委員の調査中間研究発表等のため、3月末に開催予定

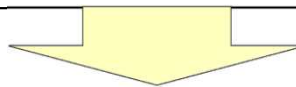


■ 令和5年度の実施状況

○「淡路国分間絵図」の詳細研究調査

淡路島3市の「分間絵図」の詳細研究のため、調査に必要な所蔵資料のデジタル化

○兵庫県立歴史博物館蔵「淡路名所図会」の整理と分析



令和6年度中に調査研究成果の取りまとめへ

■ (参考)「鳴門の渦潮」調査研究チーム(第Ⅱ期)

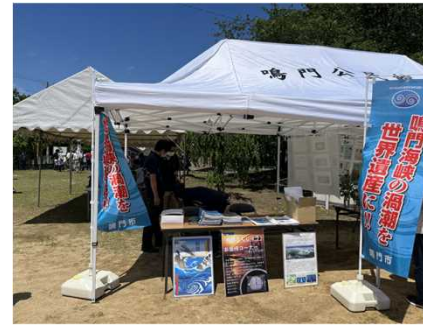
	氏名	所属
座長	藪田 貫	ひょうご歴史研究室 室長
委員	坂江 渉	ひょうご歴史研究室 研究コーディネーター
委員	古市 晃	ひょうご歴史研究室客員研究員・神戸大学大学院人文学研究科 教授
委員	大村 拓生	ひょうご歴史研究室客員研究員・関西大学 非常勤講師
委員	木村 修二	神戸大学大学院人文学研究科 特命講師
委員	平井 松午	徳島大学 名誉教授
委員	町田 哲	鳴門教育大学大学院学校教育研究科 教授
委員	金田 章裕	京都府立京都学・歴史館 館長
委員	竹内 信	ひょうご歴史研究室 研究員

令和5年度の普及啓発①

(1)「鳴門の渦潮」ワークショップの開催

①「塩づくり」現場体感ワークショップ

福永家住宅一般公開に合わせ、地域経済を支えた昔からの「製塩現場」体感イベント等を開催



②アニメ「鳴門の太鼓」上映会及び渦潮の仕組みワークショップ

鳴門の海にまつわる民話「鳴門の太鼓」アニメ化記念上映会や渦潮の仕組みの学習会を開催



(2)「鳴門の渦潮」世界遺産パネル展・中学校美術部作品展

鳴門第一中学校美術部と連携し、生徒の皆さんが描いた鳴門海峡にまつわる文化財の作品展と世界遺産の取組パネル展を鳴門市ドイツ館等で開催



鳴門市ドイツ館



県庁すだちくんテラス

令和5年度の普及啓発②

(3) 普及啓発活動支援事業補助金制度

「鳴門海峡の渦潮を世界遺産にする会」が実施した
クリーンアップ大作戦(海岸清掃活動)事業に対し、経費の一部を助成

- ・開催日 令和5年11月4日(土)
- ・場 所 千鳥ヶ浜海岸(鳴門市) ・参加者 約120名



(4) イベントへの出展・PR活動

- ・鳴門市や構成団体等のイベントに合わせたPRブース・パネル出展



鳴門のまつり



本四高速道路(株)mini感謝祭

(5) その他

- ・ラッピングバスの運行
- ・出前授業の実施
- ・ガイドマップ改訂版・増刷による
鳴門市内中学校・公民館等への配布
- ・県開催イベント等でのリーフレット・
PRグッズ配布
- ・観光キャラバン世界遺産PR 等



令和6年度の主な取組



今後の世界遺産登録の方向性(登録に向けたアプローチ)の検討・決定 (徳島・兵庫県合同)

- 世界遺産登録検討会議を開催し、今後の世界遺産登録の方向性を検討(3回開催)
検討会議の検討結果を踏まえた今後の世界遺産登録の方向性の決定

学術調査(文化的調査)

- 「鳴門の渦潮」調査研究チームによる調査・研究
「淡路国分間絵図」と「淡路名所図会」を基にした歴史地理学的手法による
「鳴門の渦潮」と淡路島の「文化的景観」調査を完了
- 調査報告書作成・関係機関等への周知

世界遺産登録に向けた情報発信 (徳島・兵庫県合同)

- 2025年大阪・関西万博に合わせ開催する「国際シンポジウム」に向けた計画・調整等

普及啓発

- 調査研究内容や「ガイドマップ」等を活用した出前授業等
- 普及啓発活動支援事業補助金制度の運用
- 製塩ワークショップやイベント等によるPR活動、パンフレット等の作成・配布
- 協議会構成団体間の相互連携による普及啓発活動の活性化